

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-G01
授業科目名		授業形態		学科・コース	
コミュニケーション活動 I		講義		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	植松 甫
授業の目的・目標					
学校行事や就職活動など、通常の科目の学習を越えた様々な学習活動を行う。 郊外での集団行動も多く、チームワークなど教室の授業では得られない学習効果が狙いである。					
授業の概要					
コミュニケーションを深めるとともに、集団生活における個々の役割・分担を再確認する。					
成績評価の方法					
出欠席で評価する。				出欠席	100%
使用テキスト・教材					
資料が必要な場合は配布する。					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 入学式		4			
2. 科内オリエンテーション		6			
3. 学生便覧・教務既定等 説明		6			
4. 前期成績発表		2			
5. 防災訓練		2			
6. 卒業研究発表会		8			
7. 進級発表		2			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-G05
授業科目名		授業形態		学科・コース	
フレッシュマンセミナー		講義		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	植松 甫
授業の目的・目標					
沼津情報・ビジネス専門学校 ^の 学生として、地域社会に貢献するための行動を意識し、基本的な生活態度を身につける。オンライン授業へ対応するべく、必要なPCセットアップ等を実施する。					
授業の概要					
アクティビティやワークを繰り返す中で、授業を受ける体制を整え学習ツールの使い方等を理解する。					
成績評価の方法					
出欠席や授業態度等で総合的に評価する。				出欠席	80%
				授業態度	20%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 対オンライン授業のセットアップ		16			
2. 学科内授業ツールのセットアップ		4			
3. 入学後の提出物確認・指導要録記入		8			
4. 心理学講師の「心の授業」		2			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-G06
授業科目名		授業形態		学科・コース	
キャリア教育		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	込山 まゆみ
授業の目的・目標					
<p>社会生活を送る上での基本的なコミュニケーションスキルと態度・考え方を知る。 「働く」とはどのようなことか、「稼ぐ」とはどのようなことか、職業観を身近に捉え、社会人準備生として労働の心構えを修得する。</p>					
授業の概要					
<p>コミュニケーションの基本的な考え方とスキルを訓練する。 学生気分から社会人準備生としてもう一段上の考え方ができるよう、成人としてのマインドセットを行う。</p>					
成績評価の方法					
出欠席及び授業態度をもとに評価を行う。				出欠席	50%
				授業態度	50%
使用テキスト・教材					
必要に応じて講師よりプリントを配布する。					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 授業概要説明 「はたらく」「稼ぐ」とは	2	11. 職業観と働き方			2
2. 金という存在	2	12. 時代の変遷と世の中の価値			2
3. 学生と社会人の差	2	13. 求められている人材と自己の			4
4. 労働と対価	2	ギャップ			
5. 行動と責任 上司と部下	2				
6. 仕事とコミュニケーション (報連相)	2				
7. 業務コミュニケーション① (依頼・請負)	2				
8. 業務コミュニケーション② (電話)	2				
9. 業務コミュニケーション③ (会議)	2				
10. 議事録と議事録取得演習	4				
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-G10
授業科目名			授業形態	学科・コース	
コミュニケーションスキル			講義	高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	植松 甫
授業の目的・目標					
「わかりやすく」「簡潔に」「印象深く話す」という、相手に伝えるための基本となる3つの要件を理解できる。相手に好印象を与える話し方や聞き方のポイントが理解できる。					
授業の概要					
ビジネスコミュニケーションの基本は自分の考え方や思いを誤解されないように伝えることである。「伝える力」は誰もが身に付けたいスキルであり、伝える力を伸ばすためには、話す力を磨くことが重要である。話す力の向上を目指し、3つの原則について学ぶ。					
成績評価の方法					
テキスト内容の学習を基にした課題にて評価する。					課題評価 100%
使用テキスト・教材					
産業能率大学配本テキスト：「話す力を磨く」産業能率大学					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	授業概要説明	2	11.	スピーキング実習①	2
2.	話す力は磨けば光る	2	12.	スピーキング実習②	2
3.	第一印象の重要性	2	13.	スピーキング実習③	2
4.	わかりやすく話す	2	14.	スピーキング実習④	2
5.	簡潔に話す	2	15.	まとめ②	2
6.	印象深く話す①	2	16.	質疑応答	1
7.	印象深く話す②	2			
8.	質疑応答	1			
9.	まとめ①	2			
10.	「聞く力」を磨く	2			
その他			関連科目		
			産業能率大学開講科目「伝える力を伸ばす」に相当する。		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-G11
授業科目名		授業形態		学科・コース	
情報分析入門		講義		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	植松 甫
授業の目的・目標					
自用法の入手と利用に関する基本的な手法および情報分析についての基本的な考え方を説明でき、有効に活用できる。テキストに記載された事例などを応用し、仮説の設定⇒分析⇒意思決定を繰り返し行い、現実社会の事例に当てはめて応用できる。					
授業の概要					
情報収集が多量かつ簡単に手に入れられる世の中において、その情報の真偽を判断することと正確に活用することが問われる。説得・納得のための情報活用は円滑な意思疎通に繋がり課題解決にも活きる。社会人として必要な情報分析ができるよう、情報の利活用方法を中心に学ぶ。					
成績評価の方法					
テキスト内容の学習を基にした課題にて評価する。					課題評価 100%
使用テキスト・教材					
産業能率大学配本テキスト：「情報分析力を鍛える」産業能率大学					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション、情報分析力とは	2	11. ビジネスのフレームワークを活用する	2		
2. 情報分析力を考える	2	12. 情報を正確に読み取る	2		
3. 情報の種類	2	13. ビジネス情報の読み取り方	2		
4. 情報分析のポイント	2	14. 情報分析実践 ケーススタディ	2		
5. データを切り分けて比較する	2	15. 分析力トレーニング	2		
6. データ傾向をつかみ、意味を読み取る	2	16. 質疑応答	1		
7. データを視覚化する	2				
8. 質疑応答	1				
9. 切り分けて整理する	2				
10. データを比較して意味付ける	2				
その他		関連科目			
		産業能率大学開講科目「情報分析力を鍛える」に相当する。			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-G12
授業科目名		授業形態		学科・コース	
マネジメント入門		講義		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	植松 甫
授業の目的・目標					
経営学の考察対象である企業について、その様々な活動内容や諸特性について理解し、そうした知識を社会生活や実践に役立つものにする。経営学の理論や特性の理解だけでなく、それを応用できる能力を身に付け、今後経営学の様々な分野を学習する際の糧とすることができる。					
授業の概要					
経営学とは何か、企業とは何かを基礎的内容から学ぶ。企業を知り、企業を考察し、企業の仕組みや活動を理解することで、体系的に経営学を学ぶことに繋げる。					
成績評価の方法					
テキスト内容の学習を基にした課題にて評価する。					課題評価 100%
使用テキスト・教材					
産業能率大学配本テキスト：「経営学を楽しく学ぶ」中央経済支社					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 授業概要説明、企業の役割	2	11. 企業間関係を学ぶ 戦略的な判断	2		
2. 企業イメージ	2	12. 経営戦略 環境への適応	2		
3. 企業を理解する	2	13. 経営組織 企業組織に関する構造上の特性	2		
4. 企業とは何か、基本的事項のまとめ	2	14. 環境と経営資源	2		
5. 経営者の仕事 経営者の役割期待	2	15. 授業内容の確認	2		
6. 経営者の仕事 企業全体の方向性	2	16. 質疑応答	1		
7. 授業内容の確認	2				
8. 質疑応答	1				
9. 企業の仕組みを学ぶ	2				
10. 企業間関係を学ぶ 関係構築の必要性	2				
その他		関連科目			
		産業能率大学開講科目「経営学入門」に相当する。			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-G13
授業科目名			授業形態		学科・コース
簿記 I			講義		高度 IT ビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	竹内 大貴
授業の目的・目標					
複式簿記の特徴を理解し、基本的な取引の仕訳が作成できる。 複式簿記の構造を理解し、仕訳から総勘定元帳へ転記ができ、総勘定元帳から試算表を作成できる 貸借対照表と損益計算書の特徴を理解し、試算表からこれらを作成できる。					
授業の概要					
初めて簿記を学ぶ学生を対象に簿記の最も基本的な骨組みを徹底的に学ぶことで、経営者視点を身に付け、ビジネスの世界をより深く理解できるようになることを目指す。日商簿記3級の資格取得を目指す。					
成績評価の方法					
期末試験と出欠席によって評価する。				期末試験	90%
				出欠席	10%
使用テキスト・教材					
産業能率大学配本テキスト：「はじめての人の簿記」かんき出版					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 簿記って何？			2	11. 仕訳に慣れよう	
2. 簿記一巡の流れ			2	12. 仕訳に慣れよう	
3. 貸借対照表って何？①			2	13. 決算整理とは？	
4. 貸借対照表って何？②			2	14. 決算整理とは？	
5. 貸借対照表って何？③			2	15. 決算書・清算表の作成	
6. 損益計算書って何？①			2	16. 質疑応答	
7. 損益計算書って何？②			2		
8. 質疑応答			1		
9. 仕訳のルールを学ぶ			2		
10. 仕訳に慣れよう			2		
その他			関連科目		
			産業能率大学開講科目「簿記を基本から学ぶ」に相当する。		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SR35
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ICT利用技術		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	植松 甫
授業の目的・目標					
この講義は入学後、パソコンの利用に慣れるために実施するものである。企業入社後や様々な環境への配属直後は高度専門士として迅速な環境対応を要求される。それらに応じていくための模擬訓練と位置付ける。前半は標準的なPCセットアップやトラブルシューティングの方法を学習する。プリンタおよびネットワーク・インターネットへの接続方法、セキュリティへの考え方等、ITリテラシの向上に繋がる実践的な知識を習得する。後半はWord基本操作習得と合わせてレポートの書き方を学ぶ。					
授業の概要					
スマートフォンが中心になった世の中でPC操作に慣れていないという人も多い。Word文書作成も含め「実践的な講義」となるため、全員が高評価を取得できるように学習して欲しい。					
成績評価の方法					
出欠、レポート課題等で評価する。				レポート	80%
				出欠席	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・30時間でマスターWord2019 (実教出版) ・教員作成のオリジナルプリント (講義スライド) 					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	PCセットアップ① (OSと初期操作)		2		
2.	PCセットアップ② (NWとプリンタ)		2		
3.	トラブルシューティングとメンテナンス		2		
4.	モバイルデバイスとセキュリティ		2		
5.	BYODと情報倫理		2		
6.	ストレージ (USB・外付HDD・サーバ)		2		
7.	Windows以外の情報世界		2		
8.	Word基本操作①		4		
9.	Word基本操作②		4		
10.	レポート (Word作成) の書き方		6		
11.	学習成果確認		2		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SR36
授業科目名		授業形態		学科・コース	
プレゼンテーション		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	植松 甫
授業の目的・目標					
ビジネススキルとしてもはや標準である PowerPoint の操作に慣れ、今後スムーズな資料作成ができるようになることを目標とする。スライドの作成だけでなく、人前で話し、説明するスキルも磨く。					
授業の概要					
PowerPoint は資料を作成するだけでなく、プレゼンテーションツールとして人前で説明するところまでで1セットである。スライド作りだけで満足することなく、人を説得する、人に見てもらふことを念頭に置いた総合的演習を行う。					
成績評価の方法					
ミニ演習の評価、制作したスライド発表、出欠席で評価する。				演習評価	10%
				制作発表	80%
				出欠席	10%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・30時間でマスター プレゼンテーション+PowerPoint2019 (実教出版) ・担当教員作成の講義スライド 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. パワーポイントの基本操作 (文字と図形)		2	11. フィラーと克服訓練		2
2. パワーポイントの基本操作 (デザイン・画像・グラフ)		2	12. プレゼンテーション総合演習①		2
3. テキスト描画の注意点		2	13. プレゼンテーション総合演習②		2
4. ミニ演習 (1枚スライドと説明資料)		2	14. プレゼンテーション総合演習③		2
5. ダメ出しの少ない資料①②		2			
6. プレゼンテーション技法を学ぶ意義		2			
7. プレゼンテーションの仕事		4			
8. スライドの基本的作り方		2			
9. 人前で話すことを考える		2			
10. 演じる必要性		2			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算			年度	2024年度
					科目コード	T-SR37
授業科目名		授業形態		学科・コース		
表計算利用技術		演習		高度 IT ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	1	清 慶治	
授業の目的・目標						
Microsoft Office Specialist (Excel2019) の資格取得を目的とする。						
授業の概要						
<p>模擬問題を解きながら、MOS 取得に必要な技能を養成する。 講義終了直後、クラス全員がMOSを受験する。 日頃から自主学習を行うことが望ましい。</p>						
成績評価の方法						
授業中に行う模擬試験および期末試験、出席率・授業態度などを考慮して評価。 ただし、MOSに合格した場合は科目目標到達と見做し、科目合格とする。					試験結果	80%
					その他	20%
使用テキスト・教材						
日経 BP 社「MOS 攻略問題集 Excel2019」						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 模擬問題、実習データのインストール			2			
2. ワークシートやブックの作成と管理			4			
3. セルやセル範囲のデータの管理			2			
4. テーブルの作成			2			
5. 数式や関数を使用した演算の実行			4			
6. グラフやオブジェクトの作成			2			
7. 模擬問題 (練習モード)			6			
8. 模擬問題 (本番モード)			6			
9. 表計算の試験			2			
その他				関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。						

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SR38
授業科目名		授業形態		学科・コース	
コンピュータ概論		講義		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	渡邊 尚明
授業の目的・目標					
<p>仕事上での様々な問題を解決するために、最適な手法や数値を導き出すのに必要とされる知識を習得する。具体的には、情報処理試験に出題される情報数学や、経営科学的手法、数理的手法を学ぶ。基本情報技術者試験、ITパスポート試験の合格を目指す。</p>					
授業の概要					
<p>前項で示した学習内容は、企業経営を支援するときに必要とされる知識です。情報処理試験で必要となる応用数学や経営科学的手法が理解できるようになります。</p>					
成績評価の方法					
期末試験、出欠席で評価。				期末試験	80%
				出欠席	20%
使用テキスト・教材					
IT戦略とマネジメント (第1部 第3章 「経営科学」)、補足プリント					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 応用数学 (集合、命題)	2	14. 業務分析 (図解・グラフ、データ分析手法)	2		
2. 応用数学 (確率)	2	15. まとめ、演習問題	2		
3. 応用数学 (統計)	2				
4. 応用数学 (数値解析)	2				
5. 応用数学 (待ち行列)	2				
6. 応用数学 (グラフ理論)	2				
7. OR (線形計画法、日程計画)	2				
8. OR (在庫管理、発注方式)	2				
9. OR (ゲーム理論)	2				
10. OR (最適化問題)	2				
11. IE (経営工学) 分析手法	2				
12. QC (品質管理) 手法	2				
13. 業務分析 (データ収集技法、データ整理技法)	2				
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SR39
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ソフトウェア		講義		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	内田 正章
授業の目的・目標					
ソフトウェアの体系、プログラム言語、言語プロセッサ、オペレーティングシステムなどの基礎知識を学ぶ。基本情報技術者試験、ITパスポート試験の合格を目指す。					
授業の概要					
学習範囲はかなり広範囲にわたりますが、基本情報技術者試験やITパスポート試験で中心となる分野です。一步一步確実に理解していくことが大切です。					
成績評価の方法					
筆記試験 (出欠席状況、受講態度も評価に加味します)				期末試験	80%
				その他	20%
使用テキスト・教材					
ITワールド (第3部 「ソフトウェア」)、補足プリント					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	ソフトウェアの分類	2	11.	ファイルとレコード、ファイルのアクセス方式	2
2.	ソフトウェアライセンスによる分類	2	12.	ファイルの編成方式、VSAM 編成ファイル	2
3.	OSの機能と構成、OSの管理機能 (ジョブ管理)	2	13.	小型コンピュータのファイル管理、バックアップ	2
4.	OSの管理機能 (タスク管理)	2	14.	まとめ	2
5.	OSの管理機能 (実記憶管理)	2	15.	演習問題	2
6.	OSの管理機能 (仮想記憶管理)	2			
7.	OSの管理機能 (その他の管理機能)	2			
8.	プログラム言語の分類	2			
9.	言語プロセッサ (種類)	2			
10.	言語プロセッサ (サービスプログラム、プログラムの属性)	2			
その他		関連科目			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度	
				科目コード	T-SR40	
授業科目名		授業形態		学科・コース		
ハードウェア		講義		高度 IT ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	60	4	浅田 豊子	
授業の目的・目標						
<p>・基本情報技術者試験の合格レベルの知識を学ぶ。コンピュータのハードウェアに焦点を置いた授業とし、データ表現、主記憶装置、CPU、補助記憶装置、入出力装置を学習する。後半は情報処理システムに焦点を当てて、高信頼化システムの構成、情報処理システムの評価、ヒューマンインタフェース、マルチメディアなどを学ぶ。</p>						
授業の概要						
<p>授業は教科書中心に行う。特に計算問題などは基礎が必要なのでよく学習してほしい。資格の合格を目指して授業を行うため日頃の自習が望ましい。</p>						
成績評価の方法						
出欠席および期末試験などで評価。				期末試験	80%	
				その他	20%	
使用テキスト・教材						
ITワールド (第一部、第二部) 補足プリント						
授業内容・授業計画						
			時間数		時間数	
1.	コンピュータの歴史、コンピュータの五大装置		2	12.	高速化技術、磁気ディスク	2
2.	データの表現		2	13.	光ディスク、入力装置	2
3.	基数と基数変換 (2進数、8進数)		2	14.	出力装置、入出力制御方式、入出力インタフェース	2
4.	基数と基数変換 (2進数から10進数への基数変換、10進数から2進数への基数変換等)		2	15.	まとめ① 中間演習	2
5.	データの表現形式 (文字データ、数値データ10進表記)		2	16.	情報処理システムの処理形態	4
6.	データの表現形式 (数値データ2進表記、固定小数点数)		2	17.	高信頼化システムの構成	4
7.	データの表現形式 (数値データ2進表記、浮動小数点数、誤差)		2	18.	情報処理システムの評価	6
8.	データの表現形式 (シフト演算)		2	19.	ヒューマンインタフェース	4
9.	中央処理装置の構成、主記憶装置の構成、主記憶装置の構成要素、主記憶装置の容量拡張		2	20.	マルチメディア	6
10.	命令とアドレッシング		2	21.	まとめ② 総合演習	6
11.	ALUの構成回路		2			
その他			関連科目			

シラバス (授業概要)	時間数は45分換算	年度	2024年度
		科目コード	T-SR41

授業科目名		授業形態		学科・コース	
アルゴリズム		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	60	4	植松 甫

授業の目的・目標

プログラムを理解／作成する上で必要となる問題解決のための手順について学習する。前半はフローチャートによるトレースや基本的な処理の流れを追えるように学習を深め、後半は基本情報技術者試験を意識した擬似言語の学習を行う。変数、配列、比較処理、繰返し処理、2重ループ、文字列処理、探索処理、整列処理といったロジック思考の基礎を固めることを目標とする。後半は基本情報技術者試験への挑戦に向けて、擬似言語を中心とした練習問題を中心に講義を進める。

授業の概要

例年、ロジカルな考え方に付いていくことが難しい学生を多く見かける。反復練習、自己復習で十分に補える内容なので、途中で投げ出さずに定着を図ってもらいたい。ロジカルシンキングは苦手な学生も多いが、試験突破・社会人としての基礎教養として確実に身に付けてもらいたい。

成績評価の方法

期末試験結果および出欠状況で評価。	期末試験	90%
	その他	10%

使用テキスト・教材

データ構造とアルゴリズム インフォテックサーブ

授業内容・授業計画

	時間数		時間数
1. イントロダクション	2	16. 基礎の復習	2
2. フローチャートと演算子	2	17. 順位付け処理	2
3. 基本制御構造と繰返し処理	2	18. 線形探索	2
4. 擬似言語理解①	2	19. ハッシュ探索	2
5. 擬似言語理解②	2	20. 2分探索	2
6. 復習／演習 I	2	21. 復習／演習 I	2
7. 配列	2	22. 文字列比較	2
8. ハッシュ	2	23. 文字列転記	2
9. 復習／演習 II	2	24. クイックソート	2
10. リスト操作 (データ追加)	2	25. 復習／演習 II	2
11. リスト操作 (データ削除)	2	26. 木構造	2
12. 復習／演習 III	2	27. 実数計算処理	2
13. スタック	2	28. 数値処理と配列	2
14. キュー	2	29. 復習／演習 III	2
15. 復習／演習 IV	2	30. グラフ処理	2

その他

※実務経験のある教員が担当する科目である。

関連科目

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SR42
授業科目名		授業形態		学科・コース	
システム開発基礎		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	岡部 泰幸
授業の目的・目標					
この授業では、情報システム戦略、システム開発の各プロセス、ソフトウェア開発の各プロセスについて、システム管理基準や共通フレームの内容を基に学習する。その他に、最近の傾向を踏まえソフトウェアの開発・設計手法についても学習する。ITパスポート、基本情報技術者試験に出題される用語について、その概要を理解し問題に対応できる知識を習得し、情報システム戦略の意義とシステム開発の方法・手順を理解することを目標にしている。					
授業の概要					
テキストを使用して情報システム戦略、システム開発技術、ソフトウェア開発技術、システム開発環境について学習し、補足プリント（要点の整理、課題や問題）や期末試験でその理解度を確認していく。					
成績評価の方法					
期末試験の成績と授業中に提出してもらう課題や問題回答の双方にて評価する。				期末試験	80%
				課題	20%
使用テキスト・教材					
IT戦略とマネジメント（第3部、第4部）（インフォテック・サーブ）、補足プリント					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	情報システム戦略のプロセス （経営戦略との関係、PDCA サイクル）	2	11.	ソフトウェア導入／受け入れ 支援、保守・廃棄プロセス	2
2.	システム管理基準とITガバナンス （組織体制、情報システム戦略の策定、 フレームワーク）	2	12.	ソフトウェア開発手法（開発 モデル、アジャイル、再利用）	2
3.	情報システム戦略の実行	2	13.	ソフトウェア設計手法（構造化設 計、オブジェクト指向設計、UML）	2
4.	業務プロセスとソリューションビジネス	2	14.	共通フレーム、CMMI	1
5.	企画プロセス、要件定義プロセス／調達	2	15.	知的財産適用管理、構成管理・ 変更	2
6.	システム開発プロセスのプロセス群	1	16.	管理、Webアプリケーションの 仕組み、まとめ	2
7.	システム要件定義、システム方式設計、 実装、システム結合プロセス	2			
8.	システム適格性確認テスト、導入、 受け入れ支援プロセス	2			
9.	ソフトウェア要件定義、方式設計、 詳細設計プロセス	2			
10.	ソフトウェア構築、適格性確認テスト プロセス	2			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SR43
授業科目名		授業形態		学科・コース	
データベース基礎		講義		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	浅田 豊子
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> データベース設計に関する知識、方法を習得し、簡易なものは自ら設計できる。 DBMS (管理機能)、特に DDL・DML やトランザクションが理解できる。 SQL 操作、特に 4 大操作とテーブル結合、副問合せまでが利用できる。 					
授業の概要					
<p>基本情報技術者試験、IT パスポート試験合格を目指します。データベースの種類、特徴、データベースモデル、3 層スキーマの基本的な考え方やデータベース管理システムの目的、代表的な機能などデータベースの基礎的な学習を行います。用語を覚えることを中心に学習します。更に情報処理試験でも中心となる分野です。一步一步確実に理解し、自分のものにしてください。</p>					
成績評価の方法					
筆記試験、出欠席で評価。				期末試験	80%
				その他	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> IT ワールド (第 4 部) インフォテック・サーブ社 説明補助プリント 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	データベースの概要① DB とファイルの違い、DB の設計 (データモデル)	2	9.	"DB 管理システム (DBMS) DB トランザクション管理 (ACID 特性: 原子性、一貫性、分離性、持続性) "	2
2.	DB 設計 (関係モデル), 関係演算 (選択、射影、結合、商)、集合演算 (和、差、積、直積)	2	10.	SQL① データ定義① (DB の定義、テーブルの定義、ビューの定義)	2
3.	DB の概念設計 (E-R モデル)	2	11.	SQL② データ定義② (アクセス権の定義、データの格納)	2
4.	DB の論理設計 (正規化の目的と手順)	2	12.	SQL③ データ操作① (条件指定のない参照、条件指定のある参照、グループ化)	2
5.	DB の論理設計 (第一正規化、第二正規化、第三正規化)	2	13.	SQL④ データ操作② (データの整列、テーブルの結合、副問合せ他)	2
6.	"DB 管理システム (DBMS) DB 定義機能 (概念スキーマ、外部スキーマ、内部スキーマ) "	2	14.	いろいろなデータベース (分散 DB、データウェアハウス、その他関連技術)	2
7.	DB 管理システム (DBMS) DB 操作機能 DB 制御機能 (保全機能: 排他制御、デッドロック、セマフォ方式他 機密保護機能: 暗号化、アクセス権、ログファイル他)	2	15.	演習問題	2
8.	"DB 管理システム (DBMS) DB 制御機能 (障害回復機能: ロールフォワード、ロールバック、ウォームスタート、コールドスタート他) "	2			
その他		関連科目			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SR44
授業科目名			授業形態	学科・コース	
IT戦略とマネジメント			講義	高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	4	鈴木 孝昌
授業の目的・目標					
企業活動、企業会計、標準化、関連法規、経営戦略、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント、システム監査、内部統制について学習します。					
授業の概要					
ITパスポート、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験に出題される問題について、その概要を理解し対応できる基礎知識と応用力を習得します。					
成績評価の方法					
学期末試験の成績で評価。					期末試験 100%
使用テキスト・教材					
IT戦略とマネジメント (第1部3章以外、第2部、第5部、第6部、第7部)					

授業内容・授業計画			
	時間数		時間数
1. 企業と法務 企業活動の目的	2	18. プロジェクトマネジメントの概要	2
2. 企業の組織体系、経営管理	2	19. 統合マネジメント、	2
3. 企業会計 損益計算書、損益分岐点分析	2	スコープマネジメント	
4. 知的財産権	2	20. タイムマネジメント、	2
5. セキュリティ関連法規	2	コストマネジメント	
6. 労働関連・取引関連法規	2	21. 品質マネジメント、	2
7. その他関連法規	2	リスクマネジメント	
8. コンプライアンス	2	22. その他マネジメント	2
9. 標準化と認証制度	2	23. サーマネジメント 概要	2
10. 経営戦略経営戦略手法	2	24. サービスの設計・移行	2
11. マーケティング	2	25. サーマネジメントプロセス、運用	2
12. ビジネス戦略と目標評価	2	26. ファシリティマネジメント	2
13. 経営管理システム	2	27. システム監査 目的と考え方	2
14. 技術開発戦略の立案、マネジメント	2	28. システム監査の実施手順	2
15. ビジネス・エンジニアリングシステム	2	29. システム監査技法と報告	2
16. eビジネス、民生機器と産業機器	2	30. 期末試験2	2
17. 期末試験1	2		
その他		関連科目	
※单元ごと演習課題を実施する。			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SR45
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ネットワーク基礎		講義		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	小山 幸三郎
授業の目的・目標					
実際のお客様システムをベースに、「IT システムの全体構造とそれを支えるネットワークの基盤技術」を修得します。併せて基本情報技術者/IT パスポート資格の取得を目指します。					
授業の概要					
ネット/サーバプロトコル等の単体技術だけでなく、それらが「実際にどう組合わされ、どう動くのか？」の視点から「IT システムの全体」を捉えるようにして下さい。学習事項のいずれも重要であり、2 学年以降の学習や実 IT 現場で活躍するためのベースとなりますので、確実に理解するようにして下さい。					
成績評価の方法					
講座内での演習課題と前期期末試験および出欠席状況				期末試験	40%
				課題	40%
				その他	20%
使用テキスト・教材					
1)ネットワーク基礎テキスト(AP1.システム全体構造&インフラ,AP2.TCP/IP プロトコル,AP3.システムアクセスフロー&セキュリティ対策)					
2)演習課題/基本情報処理試験過去問題と解説					
3)基本情報技術者教室(第7章ネットワーク技術)					
4)IT ワールド(第5部ネットワーク)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. "イントラインタネットシステムの全体構造とそれを支えるネットワーク基盤技術"		2	9. TCP/IP-3>ARP/ICMP 機能,ネット管理 (SNMP/Ping/IPconf),<総合演習&まとめ>		2
2. LAN-1>LAN 基本構造と接続形態,中継器の相違と選択,Ethernet とトラフィック制御		2	10. アクセス-1>イントラインタネットシステムの構造, DMZ/FireWall とセキュリティ対策		2
3. LAN-2>L2sw 機能 (MAC スッチング),L3sw/Router 機能(IP ルーティング),無線 LAN		2	11. アクセス-2>DNS 名前解決,WWW アクセスと環境設計,Proxy とインタネットアクセス		2
4. WAN-1>WAN 接続と通信キャリア,高速デジタル/ISDN/FR/ATM/IPVPN/広域 Ether 接続		2	12. アクセス-3>MAIL アクセスと環境設計,インタネットドメイン構造と RootServer		2
5. WAN-2>同キャリアサービスの効果的選択,インタネット接続とVPN(暗号化)		2	13. アクセス-4>攻撃 (IPS/IDS,FW,Antivirus,WAF),脆弱性診断		2
6. WAN-3>通信速度(データ量と転送時間),伝送制御手順とコネクション/同期誤り制御		2	14. アクセストラブル切分け基本,<総合演習&まとめ>		2
7. CP/IP-1>通信プロトコル(OSI,TCP/IP),TCP/IP 構造と MAC/IP/Port によるノード接続		2	15. 演習課題/基本情報技術者試験過去問題/テキスト章末問題による総まとめとフォロー		2
8. CP/IP-2>IP アドレスとサブネット,NAT/NAPT アドレス変換,TCP コネクション/UDP		2			
その他		関連科目			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SR46
授業科目名		授業形態		学科・コース	
情報セキュリティ基礎		講義		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	横田 一輝
授業の目的・目標					
基本情報技術者試験について、情報セキュリティの分野について学習する。					
授業の概要					
ニュースで取り上げられている情報セキュリティ事故や、情報セキュリティを守るための技術的な仕組みを理解するために必要な内容となります。確実に理解するとともに用語を覚えるようにしてください。					
成績評価の方法					
前期末試験及び出欠席状況で評価する。				期末試験	80%
				出欠席	20%
使用テキスト・教材					
IT ワールド (第6部 セキュリティ) (インフォテック・サーブ)、補足プリント					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 情報セキュリティの概念 資産、脅威 (人的・技術的・物理的)、脆弱性		2	9. セキュリティ実装技術① セキュア プロトコル		4
2. 代表的な不正プログラムと攻撃手法		2	10. セキュリティ実装技術② ファイアウォール、IDS、検疫ネットワーク、無線 LAN セキュリティ		3
3. 情報セキュリティ技術 暗号化技術 (共通鍵暗号方式、公開鍵暗号方式、セッション鍵暗号方式)		4	11. セキュリティ実装技術② データベースセキュリティ、アプリケーションセキュリティ、セキュア OS		1
4. 認証技術 (利用者認証、メッセージ認証、デジタル署名、その他の認証)、PKI		4			
5. 情報セキュリティ管理 情報セキュリティマネジメント、リスクマネジメント		4			
6. 情報セキュリティ機関・評価基準 情報セキュリティ機関・評価基準		2			
7. 物理的セキュリティ対策、人的セキュリティ対策		2			
8. 技術的セキュリティ対策		2			
その他			関連科目		
			・ネットワーク基礎		

シラバス (授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
				T-SR49	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
プログラミング入門		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	岡部 泰幸
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・本格的にプログラミングを学ぶ前の導入科目である。 ・頭の中で考えているアイデアをプログラムとして実現する方法と、それに伴う論理的な思考のスキルを身につけることを目標とする。 					
授業の概要					
Scratch を使い、サンプルのプログラムを作りながらプログラミングのポイントについて学びます。このサンプルプログラムから発展した課題に取り組むことで、頭で理解するだけでなく仕組みがきちんと身につく、プログラミングの仕方が「わかる」ようになります。					
成績評価の方法					
提出課題の内容、出欠席状況で評価。				課題評価	80%
				出欠席	20%
使用テキスト・教材					
Scratch で学ぶ プログラミングとアルゴリズムの基本 改訂第2版 中植 正剛 (著), 太田 和志 (著), 鴨谷 真知子 (著)					
授業内容・授業計画					
			時間数	時間数	
1. 第1章 Scratch の基本			2		
2. 第2章 プログラムの流れ			1		
3. 第3章 変数と配列の使い方			1		
4. 課題1			2		
5. 第4章 構造化プログラミング			1		
6. 第5章 関数の使い方			1		
7. 課題2			2		
8. 第6章 サーチ(探索)			2		
9. 第7章 ソート(整列)			2		
10. 第8章 その他のソート			2		
11. 課題3			2		
12. 第9章 クローンの使い方			2		
13. 自由課題制作			10		
その他				関連科目	
※PCに Scratch 開発環境をインストールします。				プログラム言語 I、アルゴリズム	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SR50
授業科目名		授業形態		学科・コース	
プログラム言語 I		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	60	2	植松 甫
授業の目的・目標					
Java 言語を使ってオブジェクト指向言語の開発に必要なクラス、インスタンス、コンストラクタ等の内容を段階的に学習し、基礎的なプログラム作成ができることを目標とする。 基本情報処理技術者試験、Java プログラミング能力認定試験 3 級、理解力によっては 2 級に合格できる知識を習得することが望ましい。					
授業の概要					
講義ではパソコン上で実際にプログラム作成することを重視する。 小テスト・演習問題・テキストを確実に、かつ何回も解いていくことで理解が深まる。 理解不足の箇所があるとリカバリが難しくなるので、単元毎で確実に理解してほしい。					
成績評価の方法					
期末試験の結果及び演習課題の状況、出欠席等で評価。				期末試験	80%
				演習課題	10%
				その他	10%
使用テキスト・教材					
「スッキリわかる Java 入門」 インプレス社					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. Java 言語と基礎知識	2	16. メソッドと main メソッド	2		2
2. Java プログラムの基本構造	2	17. 引数と使い方	2		2
3. 変数宣言の文	2	18. 戻り値の概念と使い方	2		2
4. 計算文とオペランドと演算子	2	19. オーバーロード	2		2
5. 型変換と命令実行文	2	20. 引数・戻り値と配列の組合せ	2		2
6. プログラムの流れと書き方	2	21. ソースファイルの分割	2		2
7. 条件式の書き方と分岐構文	2	22. 複数クラスで構成されるプログラム	2		2
8. 繰返構文のバリエーションと文法	2	23. オブジェクト指向の必要性	2		2
9. 制御構造の応用	2	24. オブジェクト指向の定義とクラス	2		2
10. 配列のメリットと書き方	2	25. 継承・多態性・カプセル化	2		2
11. 配列と例外	2	26. インスタンスとクラス	2		2
12. 配列データをまとめて扱う	2	27. main メソッドのないクラス	2		2
13. ガーベジコレクションと null	2	28. クラス定義とフィールド定義	2		2
14. 多次元配列	2	29. インスタンスと様々なルール	2		2
15. 復習①	2	30. 復習②	2		2
その他		関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。		プログラミング入門			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SR19
授業科目名			授業形態		学科・コース
オブジェクト指向設計			講義・演習		高度 IT ビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	浅田 豊子
授業の目的・目標					
オブジェクト指向は現在主流となっているソフトウェアの開発技法で、UMLはその表記法である。「astah professional」を使ってUMLの主なダイアグラム (図) を記述できるようになる。					
授業の概要					
UMLの主なダイアグラム (図) について、用途と「astah professional」を使った表現を学習する。操作方法を覚えるだけでなく、「自分で考えて」表現することを心掛ける。					
成績評価の方法					
期末試験の得点と課題と提出物で判定する。				期末試験	70%
				課題	20%
				提出物	10%
使用テキスト・教材					
「ゼロからわかる UML 超入門」 / 河合昭男 著 (技術評論社)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	「astah professional」設定 オブジェクト指向とは (概論)	2	11.	インタフェース、課題	2
2.	オブジェクト、UML、モデルとは	2	12.	集約、コンポジション、課題	2
3.	クラス	2	13.	ユースケース図	2
4.	オブジェクト図、クラス図	2	14.	アクティビティ図、パッケージ図	2
5.	リンク、関連、多重度、課題	2	15.	オブジェクト指向開発プロセス	2
6.	コミュニケーション図	2			
7.	シーケンス図	2			
8.	ステートマシン図、課題	2			
9.	クラスのカテゴリ、汎化関係、継承	2			
10.	抽象クラス	2			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)				年度	
				2024年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				T-SR59	
授業科目名			授業形態		学科・コース
ネットワーク応用			講義・演習		高度ITビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	60	2	小山 幸三郎
授業の目的・目標					
「ネットワーク基礎(1学年)」技術をベースに、実機によるシステム構築と事例解説によりお客様の実現場で要求される「ネットワークの応用技術」を修得する。					
授業の概要					
1) 研修目的とシステム全体設計(お客様要件の確認とシステム全体設計) 2) TCP/IP 基本設計とクライアント/サーバ/L3-SW の実装 3) Web/dns/Mail サーバおよびftp/NTP サーバの設計・構築・実装 4) 複数ネットワークへの構成変更と各機器パラメータ設計・構築・実装 5) トラブルシューティングによる基盤技術の再確認とプロジェクト全体での進行の重要性 6) まとめ(ネットワーク設計構築の要点とセキュリティ対策)					
成績評価の方法					
出欠席+「実機演習進捗結果(グループ&個人)」および「期末修了試験」で評価。					期末試験 80% 課題 20%
使用テキスト・教材					
1) ネットワーク応用研修テキスト(AP5) 2) 1学年使用教材「ネットワーク基礎(AP1~3),情報セキュリティ基礎(AP4)」<持参> 3) 参考資料：TCP/IP 最高の指南書(日経 NETWORK)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 研修目的と取得内容	2	12. FTPサーバの設計構築と実装			8
2. お客様要件の確認とシステム全体設計	4	13. 複数ネットワークへのシステム変更			6
3. 演習にあたっての事前設定変更	4	14. トラブルシューティング			4
4. L3SW への接続と初期設定	2	15. まとめ			4
5. クライアント/サーバのネットワーク設定	2				
6. 4.5.の論理付け	4				
7. Webサーバの設計構築と実装	3				
8. DNSサーバの設計構築と実装	3				
9. 理解度確認テスト(演習1,2)	4				
10. メールサーバの設計構築と実装	5				
11. 7.8.9.の論理付け	5				
その他		関連科目			
		ネットワーク基礎			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SR65
授業科目名		授業形態		学科・コース	
データベース応用		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	60	2	横田 一輝
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ローカル環境のMySQLを利用し、SQLの実操作を体験する。 SQL言語の概念、操作、用語をDB操作から修得する。 MySQLを使用しながらDB設計の基本を習得する。 					
授業の概要					
<p>授業では、パソコン上に実際にデータベースを導入して授業の演習に活用する。 リレーショナルモデルを理解し、より効率的にDB設計を行い、適切にSQLを使いこなすために必要な知識を習得する。そのために、座学+演習を繰り返しながら授業を進めていく。</p>					
成績評価の方法					
期末試験、出欠席状況で評価します。				期末試験	80%
				出欠席	20%
使用テキスト・教材					
改訂第3版 すらすらと手が動くようになるSQL書き方ドリル 羽生 章洋、和田 省二、菅井 大輔 著 技術評論社					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. イントロダクション			2		
2. データベースとSQL			2		
3. データベース環境セットアップ			4		
4. 一つのテーブルからデータを取り出す			4		
5. グループ単位の操作、クロス集計			8		
6. 複数テーブルを扱う			8		
7. データの追加・更新・削除			8		
8. 応用的なテーブル作成と操作			8		
9. データベースのチューニング			8		
10. データベース設計			8		
その他			関連科目		
			データベース基礎		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SR76
授業科目名		授業形態		学科・コース	
情報特別講義 I		講義		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	120	4	植松 甫
授業の目的・目標					
国家資格・基本情報技術者試験以上の合格を目指した資格対策授業である。					
授業の概要					
対策授業は決して楽な勉強ではない。しかし、資格合格を目指すという強い意志を持って勉強に臨んでほしい。また、本講義はこれまでに学んだすべての科目の総まとめの意味を持っておりそれぞれの科目の知識がしっかり繋がることで、より深く理解できることを期待する。					
成績評価の方法					
出欠席及び合格することなどで評価。				出欠席	90%
				その他	10%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> 基本情報技術者認定試験問題集 (インフォテック・サーブ) 応用情報技術者認定試験問題集 (インフォテック・サーブ) 					
授業内容・授業計画					
1. 問題練習			時間数 120	時間数	
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算			年度	2024年度
					科目コード	T-G02
授業科目名		授業形態		学科・コース		
コミュニケーション活動II		講義・演習		高度ITビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	30	1	植松 甫	
授業の目的・目標						
毎日の挨拶や授業、さらに始業式、終業式、卒業研究発表会、就職ガイダンスといった行事などが円滑に遂行できるように割り当てられた授業である。この授業を通し学生間、学生教員間のコミュニケーションを図ることを目的とする。						
授業の概要						
毎日の挨拶や授業の取り組み方の指導、卒業研究発表会、就職ガイダンスといった行事に取り組むための科目である。余剰時間が発生した場合は資格試験対策の授業に割り当てることもある。						
成績評価の方法						
毎日の出席状況や行事の参加状況で判断します。 出席率 90%以上：優 出席率 80%以上：良 出席率 70%以上：可					出欠席	100%
使用テキスト・教材						
・必要に応じて補助プリントを配布						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. オリエンテーション			4			
2. 前期成績発表			4			
3. 防災訓練			4			
4. 卒業研究発表会			8			
5. 進級発表			4			
6. 資格試験対策			6			
その他				関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算			年度	2024年度
					科目コード	T-G07
授業科目名		授業形態		学科・コース		
キャリアディベロップメント		講義・演習		高度ITビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	30	1	植松 甫	
授業の目的・目標						
社会人として必要な一般常識・知識を学ぶ。3年生から積極的な活動ができるように、就活・社会人訓練の一環社会生活を送る上での基本的なコミュニケーションスキルと態度・考え方を知る。						
授業の概要						
就活・社会人訓練の一環としてキャリアに関する集中講座をおこない、「就職意識向上」「グループ中の自分の役割・責務」「模擬面接会」などを通じて、スムーズな就活準備を行う。						
成績評価の方法						
出席状況や授業態度、演習に対する成果内容で判断する。					出欠席	60%
					成果内容	40%
使用テキスト・教材						
・講師からの配布プリント類						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. キャリア集中講座			24			
2. 模擬面接			6			
その他				関連科目		
				キャリア教育、就職活動ゼミ		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-G14
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ビジネスマネジメント		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	2	横田 一輝
授業の目的・目標					
マネジメントの基本と関係する基礎的専門用語を理解する。 仕事の的確な推進と問題解決の考え方・方法を理解し、実行に移せるようになる。					
授業の概要					
日々直面する仕事を効率的に進めて期待される成果を上げるために、マネジメントの基本を理解し、問題解決力を高めることは非常に重要である。PDCA サイクルを基本とした課題づくりと目標の設定、仕事の的確な推進と問題解決能力の知識を習得する。					
成績評価の方法					
期末試験と出欠席によって評価する。				期末試験	90%
				出欠席	10%
使用テキスト・教材					
産業能率大学配本テキスト：「仕事の的確な推進と問題解決」産業能率大学					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 中堅社員に期待される役割	2	11. 思考力を高める			2
2. 仕事の推進とセルフマネジメント・目標	2	12. 仕事の振り返り			2
3. 課題づくり	2	13. 仕事の改善			2
4. 目標設定	2	14. 仕事の成果を次に活かす			2
5. 計画の立案と達成手段の検討	2	15. 質疑応答			2
6. スケジュールの作成	2				
7. 仕事の遂行	2				
8. 効率を高めるタイムマネジメント	2				
9. 仕事推進のコミュニケーション	2				
10. 問題を解決する	2				
その他		関連科目			
		産業能率大学開講科目「仕事をマネジメントする」に相当する。			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-G15
授業科目名		授業形態		学科・コース	
仕事効率化		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	2	植松 甫
授業の目的・目標					
「能率10訓」とは何か、考え方や業務改善プロセスを理解して、仕事の生産性を高められる。会社の現状を捉え、決算書から状態を把握することができる。					
授業の概要					
個人の努力が経営成果に結びつかず組織全体の生産性が問われるケースが多くなっている。産業能率大学創立者：上野陽一が提唱した「能率10訓」を取り上げ、「組織としての生産性向上に貢献するためのマネジメント」について学習する。一部、財務会計に関する知識も学習する。					
成績評価の方法					
期末試験と出欠席によって評価する。				中間試験	45%
				期末試験	45%
				出欠席	10%
使用テキスト・教材					
産業能率大学配本テキスト：「仕事の生産性を高めるマネジメント」産業能率大学出版部					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	はじめに 生産性向上はなぜ必要か		2		
2.	上野陽一と能率10訓		4		
3.	仕事をする目的と各々の"想い"		2		
4.	生産性向上の5パターンと貢献する人の要件		4		
5.	生産性向上と経営指標		2		
6.	決算書と経営指標、全体最適と部分最適		4		
7.	会社と部門と業務		2		
8.	業務の「見える化」と"お客様"は誰か		2		
9.	業務棚卸と業務プロセスの改善		4		
10.	マネジメント活動と「目標の質」		2		
11.	協業メンバーとメンバーの成長		2		
その他			関連科目		
			産業能率大学開講科目「能率10訓と仕事の生産性向上」に相当する。		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-G16
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ビジネスマナー		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	2	根上 裕恵
授業の目的・目標					
ビジネスパーソンとしての常識・マナーを理解して、その必要性や重要性を考えることができる。 常識・マナーを日常生活・仕事に関連させ、自ら行動・実践することができる。					
授業の概要					
ビジネスパーソンにとって必要な社会常識やビジネスマナーの基本を学習し、実践できることを目的とする。特に新入社員・若手社員であることを意識した学習を心がける。					
成績評価の方法					
期末試験と出欠席によって評価する。				期末試験	80%
				出欠席	20%
使用テキスト・教材					
産業能率大学配本テキスト：「社会人常識マナー検定テキスト2・3級」清水書院					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション	2	11. 来客応対・訪問のマナー			2
2. 社会と組織	2	12. 交際業務			2
3. 仕事と成果、一般知識	2	13. 文書の授受とファイリング			2
4. 仕事の進め方	2	14. 会議ととりまとめ			2
5. ビジネスコミュニケーションと職場の人間関係	2	15. 質疑応答			2
6. 社会人にふさわしい言葉遣い (敬語)	2				
7. 社会人にふさわしい言葉遣い (話し方)	2				
8. ビジネス文書	2				
9. 職場のマナー	2				
10. 電話応対	2				
その他		関連科目			
		産業能率大学開講科目「社会人の常識とマナー」に相当する。			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-G17
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ロジカルシンキング		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	2	植松 甫
授業の目的・目標					
論理的思考の概略を学習し、その内容を理解、説明できる。 演繹法、帰納法、因果関係といった論理的思考の中核となる思考法を活用できる。 MECE、ロジックツリーといった思考技術を修得し、活用できる。					
授業の概要					
論理的な物事の考え方は現代社会において必須と言える。論理思考は複雑化した問題の解決や円滑なコミュニケーションに繋がる。技術志向の代表的なツールを深く理解し、演習を交えながら技術習得できることが望ましい。					
成績評価の方法					
テキスト内容の学習を基にした課題にて評価する。					課題評価 100%
使用テキスト・教材					
産業能率大学配本テキスト：「ロジカル思考を身につける」産業能率大学総合研究所					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション	2	11. ロジックツリー (知識習得)	2		2
2. ロジカル思考とは	2	12. ロジックツリー (理解と利用)	2		2
3. 主張を展開する (ロジカルな主張)	2	13. 推論	2		2
4. 主張を展開する (仮説・反証可能性)	2	14. イシューの取扱い	2		2
5. 三角ロジック	2	15. 振返り	2		2
6. 演繹法	2	16. 質疑応答	1		1
7. 帰納法と反証可能性	2				
8. 質疑応答	1				
9. 因果関係	2				
10. MECE の理解	2				
その他		関連科目			
		産業能率大学開講科目「考える力をつける」に相当する。			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-G18
授業科目名		授業形態		学科・コース	
課題解決手法		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	2	植松 甫
授業の目的・目標					
問題とは何かを理解し、問題解決を実践していくためのプロセスや技法を身に付ける。 自らの問題解決に向けて、認識した問題の原因追求や解決策の立案ができる。					
授業の概要					
現代ビジネスは全てのビジネスパーソンに問題解決力の向上が求められている。社会生活においても例外でなく、解決するための当事者意識も必要になってくる。問題をどのように定義すればよいか、どう課題を設定するか、解決策の策定、実行・評価までの問題解決プロセスを学習する。					
成績評価の方法					
期末試験と出欠席によって評価する。				期末試験	90%
				出欠席	10%
使用テキスト・教材					
産業能率大学配本テキスト：「問題発見・解決力を伸ばす」産業能率大学					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション・問題解決力の必要性	2	11. 解決策の策定 (1) 論理的思考	2		
2. 問題解決とは何か	2	12. 解決策の策定 (2) 創造的思考	2		
3. 問題発見 (発生型と探索型)	2	13. 解決策を絞り込む、実行と評価	2		
4. 発生型問題の発見	2	14. 振り返り・課題解決手法の活用例	2		
5. 探索型問題の発見	2	15. 質疑応答	2		
6. 発生型問題の課題設定、問題と課題の違い	2				
7. 発生型問題、原因分析	2				
8. 探索型問題の課題設定、問題と課題の違い	2				
9. 探索型問題、課題の構造化	2				
10. フレームワークの活用	2				
その他		関連科目			
		産業能率大学開講科目「問題発見・解決力を伸ばす」に相当する。			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-G19
授業科目名		授業形態		学科・コース	
マネジメント実践 I		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	2	横田 一輝
授業の目的・目標					
様々な分野の企業経営活動事例から先人が実践、蓄積してきたビジネス上のポイントを理解する。また、そのポイントに対して市場の新たな課題解決に向けて理論的な考察ができる。					
授業の概要					
企業を成長させてきた創業者・企業家の活動や歴史的背景を含めた企業活動を具体的な事例から学習する。先人が経験・蓄積してきたビジネスのポイントを押さえ、経営の基本的知識を身に付ける。					
成績評価の方法					
期末試験と出欠席によって評価する。				期末試験	90%
				出欠席	10%
使用テキスト・教材					
産業能率大学配本テキスト：「歴史に学ぶ経営学」 産業能率大学					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション・企業経営の全体像	2	11. 日本における小売業の発展	2		
2. 企業家の定義と革新的行動①	2	12. 日本における製造小売業の発展	2		
3. 日本における家電業界の発展	2	13. 企業経営史、小売業の事例	2		
4. 企業経営史、家電業界の事例	2	14. 日本における IT 産業の発展	2		
5. 日本における自動車業界の発展	2	15. 質疑応答	2		
6. 企業経営史、自動車業界の事例	2				
7. 家電業界・自動車業界発展	2				
8. 企業家の定義と革新的行動②	2				
9. 日本における食品産業の発展	2				
10. 企業経営史、食品産業の事例	2				
その他		関連科目			
		産業能率大学開講科目「企業家に学ぶ経営」に相当する。			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-G20
授業科目名		授業形態		学科・コース	
社会学概論		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	2	植松 甫
授業の目的・目標					
古典から現代社会学までの学説を理解し、現代社会で生じる現象を社会学の視点から説明できる。社会学者たちの思考を学び、現代社会の諸問題について社会学用語を使いながら考察できる。					
授業の概要					
現代社会の構造と機能について、社会学の観点から再認識して、改めて問い直すことが重要である。社会学の誕生から現代社会まで、社会学者たちの学説を学び、身近な社会問題と合わせて考察する。					
成績評価の方法					
テキスト内容の学習を基にした課題にて評価する。					課題評価 100%
使用テキスト・教材					
産業能率大学配本テキスト：「社会学概論 社会の仕組みを1から学ぶ」産業能率大学出版部					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション・社会学とは	2	11. 政治と権力	2		2
2. 理論とモデル (社会の秩序)	2	12. 宗教と文化	2		2
3. 理論とモデル (社会学の基礎概念)	2	13. 歴史と現代	2		2
4. 個人と集団 (個人主義)	2	14. グローバリゼーションと国家	2		2
5. 個人と集団 (集団の種類)	2	15. 社会秩序はいかにして可能か	2		2
6. 家族と教育 (家族の歴史)	2	16. 質疑応答	1		1
7. 家族と教育 (現代の家族)	2				
8. 質疑応答	1				
9. 労働と消費	2				
10. 都市と犯罪	2				
その他		関連科目			
		産業能率大学開講科目「社会学概論」に相当する。			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-G21
授業科目名		授業形態		学科・コース	
心理学入門		講義		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	2	岡部 泰幸
授業の目的・目標					
心理学の基礎的な考え方や重要な用語を理解し、心理学とはそもそも何かを説明できる。 心理学の基本的概念を自らの社会生活に置き換え、日常的な現象を心理学的に捉えることができる。					
授業の概要					
日常生活の中で起こる様々な現象は心理学における研究から解明することができるものである。 本科目では基礎的な心理学の内容を学習し、社会生活に役立つ多様な思考を身に付ける。					
成績評価の方法					
期末試験と出欠席によって評価する。				期末試験	90%
				出欠席	10%
使用テキスト・教材					
産業能率大学配本テキスト：「アカデミックナビ 心理学」勁草書房					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 原理・研究法・歴史		4			
2. 学習・認知・知覚		2			
3. 発達・教育		4			
4. 社会・感情・性格		2			
5. 臨床・障害		4			
6. 神経・生理		2			
7. 統計・測定・評価		4			
8. 産業・組織		2			
9. 健康・福祉		2			
10. 犯罪・非行		3			
11. 質疑応答		1			
その他			関連科目		
			産業能率大学開講科目「心理学基礎」に相当する。		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-G22
授業科目名		授業形態		学科・コース	
メンタルヘルス入門		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	2	岡部 泰幸
授業の目的・目標					
<p>ストレスとこころの健康について基本的な知識を身につけ、専門用語の理解・説明ができる。 ストレスとこころの健康に関する労働者や社会の状況を、理論的に考察・推論でき、自分の考えを述べる ことができる。</p>					
授業の概要					
<p>臨床心理学の観点からストレスと心身の健康について学習する。ストレスの定義や原因、ライフサイクルの各ステージで起こりやすいストレスについて学ぶ。また、ストレスと脳の関係にも触れ、心の病の 具体的症状や病名について理解を深めながら、対処方法や社会的支援について学習する。</p>					
成績評価の方法					
<p>期末試験と出欠席によって評価する。</p>				期末試験	90%
				出欠席	10%
使用テキスト・教材					
産業能率大学配本テキスト：「ストレスとこころの健康」ナカニシヤ出版					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. ストレスとその原因	2	11. 心の理解 (心理テスト)	2		
2. ストレス反応	2	12. 心の理解 (発達心理学)	1		
3. ストレスと個人差・男女差	2	13. 心の理解 (高齢者のこころ)	1		
4. ライフサイクルを考える	2	14. 心の不健康 (神経症)	2		
5. ストレスに弱い性格	1	15. 心の不健康 (うつ病)	1		
6. ストレスとの上手な付き合い方	2	16. 心の不健康 (統合失調症)	2		
7. 社会的支援とは	1	17. 心の不健康 (嗜癖・摂食障害)	2		
8. 心の理解 (脳の構造と働き)	2	18. 心の不健康 (正格・認知症)	1		
9. 心の理解 (フロイト理論)	1	19. カウンセリングと薬物療法	1		
10. 心の理解 (ユング理論)	1	20. まとめ	1		
その他		関連科目			
		産業能率大学開講科目「ストレスとこころの健康」に相当する。			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SR51
授業科目名		授業形態		学科・コース	
プログラム言語II		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	60	2	植松 甫
授業の目的・目標					
プログラム言語Iの授業の続きを学習する。範囲としてファイル処理、AWT、Swingを使ったWindowsアプリの作成方法やDBとの連携方法などを学習する。Javaプログラミング能力認定試験3級、理解力によっては2級に合格できる知識を習得することが望ましい。					
授業の概要					
講義ではパソコン上で実際にプログラム作成することを重視する。演習問題・テキストを確実にかつ何回も解いていくことで理解が深まる。理解不足の箇所があるとリカバリが難しくなるので、単元毎で確実に理解してほしい。何故そうなるのか、という気持ちを持って自分で考えることが大切である。					
成績評価の方法					
期末試験の結果及び演習課題の状況、出欠席等で評価。				期末試験	80%
				演習課題	10%
				その他	10%
使用テキスト・教材					
「スッキリわかるJava入門」 インプレス社					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. クラス型と参照	2	16. カプセル化の基礎知識	2		
2. コンストラクタ	2	17. アクセス制御と他クラス参照	2		
3. 継承の基礎知識	2	18. private と public の定石	2		
4. 継承のセオリーとオーバーライド	2	19. getter と setter によるフィールド操作	2		
5. 継承とコンストラクタ	2	20. 静的メンバと Static	2		
6. 先を考えた継承	2	21. ArrayList とイテレータ	2		
7. 高度な継承と複雑な理由	2	22. 例外の復習	2		
8. 抽象クラス	2	23. 例外処理と Try-Catch	2		
9. 抽象メソッドのオーバーライド	2	24. 例外発生と例外インスタンス	2		
10. インタフェースの基礎知識	2	25. 例外発生と throw	2		
11. インタフェースの実装	2	26. 復習③	2		
12. 多態性と曖昧解釈	2	27. 復習④	2		
13. 多態性のメリット	2	28. 進級課題対策①	2		
14. 復習①	2	29. 進級課題対策②	2		
15. 復習②	2	30. Java 検定対策	2		
その他		関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。		プログラム言語I			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SR53
授業科目名		授業形態		学科・コース	
WEBページ制作		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	60	2	深澤 裕明
授業の目的・目標					
Web サイト制作に必要な HTML5、CSS3 によるコーディング方法を学習する。教員が提示するサンプルをもとに、Web ページを 1 ページ作成できるようになることを目標とする。					
授業の概要					
あらゆる Web 制作において、HTML5、CSS3 は必ず覚えるべき言語であり、Web 系の基礎科目として非常に重要な授業となる。本授業では、サンプルページを制作しながら実践的に言語を学ぶため、欠課数が増えると、試験の結果に大きく影響する。ブラウザによる動作確認、教材の事典を用いながら、単語の意味を理解していくことが大切である。					
成績評価の方法					
各単元毎に演習課題を設け、その課題のサイト制作により成績の評価を行う				出欠席	20%
				演習課題	80%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・できるポケット Web 制作必携 HTML&CSS 全事典 改訂版 ・その他、担当教員が準備した資料を使用する。 					
授業内容・授業計画					
1. オリエンテーション 1-1. 授業内容説明 1-2. WEB サイト制作方法の概要	2	4. メインコンテンツ内のレイアウト 4-1. section の考え方 4-2. レスポンシブの配置変更 4-3. 演習問題 03	14		
2. ボックスレイアウト 2-1. 基本構造とレイアウト 2-2. 色指定とサイズ単位 2-3. main 内のレイアウト 2-4. レスポンシブ化 2-5. 演習課題 01	14	5. サイト構築の手順 5-1. サイト制作の手順 5-1. header,nav 固定と内部スクロール 5-2. CSS の切り替え 5-3. JQuery について 5-4. 演習問題 04	16		
3. 画像、文字の配置 3-1. header 部の制作基礎 3-2. nav 部の制作基礎 3-3. 演習問題 02	14				
その他	関連科目				

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SR60
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ネットワーク演習		演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	60	2	遠藤 有貴 植松 甫
授業の目的・目標					
ネットワーク応用で学んだ内容を活かし、情報通信機器、サーバなどを用い、小規模LANのデザイン、設計、構築方法について学習する。構築した小規模LANを活用し、運用のポイントについて学習する。本格的な仕事の進め方についても本演習で修得する。					
授業の概要					
授業はテキストを使ってのディスカッション、配布プリントを中心におこなう。情報通信機器実機に触れ学習を進めるため、積極的に参加すること。放課後、知識の共有をするなど、日頃の授業の復習を行うことが望ましい。					
成績評価の方法					
制作成果物および期末試験、出欠席などで評価。				制作評価	40%
				期末試験	40%
				出欠席	20%
使用テキスト・教材					
企業ネットワーク構築 (日経 NETWORK) 配布プリント YAMAHA 製、ネットワーク機器					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	LAN 構築 (事前検討)		2		
2.	LAN 構築 (物理設計)		2		
3.	LAN 構築 (論理設計)		2		
4.	LAN 構築 (論理設計)		2		
5.	VPN とディザスターリカバリ		2		
6.	冗長化とオートネゴシエーション		2		
7.	アクセスポイントと無線LAN構築		4		
8.	UTM とネットワークセキュリティ		4		
9.	応用情報技術者過去問題 (設計)		4		
10.	ネットワーク設計演習		6		
11.	Windows ネットワークコマンド		6		
12.	YAMAHA 機器概要		4		
13.	YAMAHA 機器演習		10		
14.	期末課題		10		
その他				関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。				ネットワーク基礎、ネットワーク応用	

シラバス (授業概要)				年度	
				2024 年度	
				科目コード	
				T-SR61	
授業科目名			授業形態		学科・コース
セキュリティ評価演習			講義・演習		高度 IT ビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	2	岡部 泰幸
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ対策に必要な理論を学び、実践的な演習を行う。 ・脆弱性体験型の学習ツールを利用し、実際の攻撃やセキュリティ対策について学ぶ。 					
授業の概要					
Web アプリケーション、サーバ・デスクトップアプリケーション、ネットワーク、サーバの脆弱性について学習する。					
成績評価の方法					
課題の提出内容で評価する。				授業課題	70%
				最終課題	30%
使用テキスト・教材					
IPA 提供 脆弱性体験学習ツール AppGoat					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 情報セキュリティ知識の復習			2		
2. クロスサイトスクリプティング			6		
3. ディレクトリトラバーサル			4		
4. SQL インジェクション			4		
5. セッション管理の不備			4		
6. クロスサイトリクエストフォージェリ			6		
7. 最終課題			4		
その他				関連科目	
				情報セキュリティ基礎	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SR62
授業科目名		授業形態		学科・コース	
プログラム言語Ⅲ		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	60	2	内田 正章
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・C#言語を用い、ウィンドウズプログラミングの基礎的事項を学習する。 ・C#を使い、ウィンドウズ GUI アプリケーションが作れることを目標とする。 ・アプリケーションの作成を通して、オブジェクト指向の基本的事項について再確認する。 					
授業の概要					
<p>授業では、パソコン上で実際にプログラムを作成することを重視します。各回の授業のテーマに沿ってプログラムを作成し、作成状況/動作結果を教員に提示してもらいます。プログラミングの習得の早道は「習うより慣れる」という気持ちが大事です。とにかくプログラムを入力し、動作確認しながらプログラミングを覚えましょう。</p>					
成績評価の方法					
課題の作成状況、発表内容で評価します。出欠席状況、受講態度も評価に加味します。				出欠席	20%
				課題内容	80%
使用テキスト・教材					
「ゴールからはじめるC#」 菅原 朋子(著)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. Visual Studio の セットアップ	2	16. テキスト読み上げアプリの作成			2
2. ビジュアルプログラミングの第1歩	2	17. 子ウィンドウ			2
3. Visual C#の基本事項	2	18. コントロールの動的生成			2
4. 簡単なアプリ作成 (挨拶)	2	19. 継承			2
5. データ型、キャスト	2	20. 継承を利用するアプリの作成			4
6. 簡単なアプリ作成 (税込金額)	2	21. アクセサー/プロパティ			2
7. 数値チェック	2	22. マウスイベント、ファイル入出力			2
8. 簡単なアプリ作成 (色の作成)	2	23. 付箋アプリの作成			2
9. タイマーコンポーネント、サウンド	2	24. 課題制作			10
10. タイマーアプリの作成	2	25. 制作課題の発表			2
11. Visual C#プログラムの構造	2				
12. 乱数生成アプリの作成	2				
13. 配列、コントロールの配列	2				
14. スロットゲームアプリの作成	2				
15. オブジェクト指向、クラス	2				
その他		関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SR66
授業科目名		授業形態		学科・コース	
サーバ基礎		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	60	2	植松 甫
授業の目的・目標					
・Linux のインストール、各種設定方法、Linux コマンド、Shell コマンドを中心に学ぶ。					
授業の概要					
Linux は、サーバ用途から、家電製品、情報機器の組み込み用途など多くの環境で利用されている。授業では、実際に Linux サーバを利用し、Linux の基本的な操作を学習する。					
成績評価の方法					
期末試験、課題の提出状況、出欠席状況等の授業内態度で評価する。				期末試験	80%
				課題 等	20%
使用テキスト・教材					
・「Linux コマンド200本ノック」ひらまつしょうたろう (著) 技術評論社					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. Linux (Ubuntu) インストール		2			
2. Linux の基本		2			
3. ファイルとディレクトリ		8			
4. シェルとコマンドラインの基本		4			
5. ファイル操作のコマンド		8			
6. パーミッションとスーパーユーザ		6			
7. Vim の基本		8			
8. 標準入出力の活用		6			
9. テキスト処理の基本コマンド		6			
10. プロセスとジョブ		4			
11. Bash の設定		4			
12. シェルスクリプト入門		2			
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SR68
授業科目名		授業形態		学科・コース	
サーバ応用		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	60	2	遠藤 有貴
授業の目的・目標					
Linux のインストール、仮想マシン・コンテナの利用、ファイル・ディレクトリの操作管理など LinuC101 試験の内容を学び、合格を目指す。					
授業の概要					
Linux は、サーバ用途から、家電製品、情報機器の組み込み用途など多くの環境で利用されている。授業では、実際に Linux サーバを利用し、LinuC101 の内容を学ぶ。授業以外にも自己学習をすることが望ましい。					
成績評価の方法					
LinuC101 の受験結果で評価する。 日頃の課題の提出状況、出欠状況等の授業内態度を加味する場合もある。				外部試験	50%
				その他	50%
使用テキスト・教材					
・「最短突破 LinuC レベル1 バージョン10.0 合格教本」河原木忠司 (著)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. Linux の基本・インストール・起動・接続	2	16. 基本的なファイル編集の実行			2
2. LPI-Japan 理事長講演	2	17. LinuC101 3章練習問題			2
3. 仮想マシン・コンテナの概念と利用	4	18. Apt コマンドによるパッケージ管理			2
4. ブートプロセスと systemd	2	19. Debian パッケージ管理			2
5. プロセスの生成・監視・終了	2	20. yum コマンドによるパッケージ管理			2
6. デスクトップ環境の利用	4	21. RPM パッケージ管理			2
7. LinuC101 1章練習問題	2	22. LinuC101 4章練習問題			2
8. 基本的なファイル管理の実行	2	23. ハードウェアの基本知識と設定			2
9. ファイルの所有者とパーミッション	4	24. HDD/SSD のレイアウト			2
10. ファイルの配置と検索	2	25. ファイルシステムの作成・管理			2
11. LinuC101 2章練習問題	2	26. Linu101 5章練習問題			2
12. コマンドラインの操作	2	27. 模擬試験			2
13. フィルタを使ったテキストストリーム処理	2				
14. ストリーム、パイプ、リダイレクトの利用	2				
15. 正規表現を利用したテキストファイル検索	2				
その他		関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。		サーバ基礎			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SR73
授業科目名		授業形態		学科・コース	
システム制作演習		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	60	2	植松 甫 横田 一輝
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・Javaを使ったシステム開発を学習する。 ・初めてのデータベース連携を体験し、システムの基本構成を中身まで理解する。 ・システム設計から開発までの一連の作業を体験する授業である。 					
授業の概要					
<p>授業は専用のオリジナルテキストと演習中心に行う。 最後に検索システムを完成させ、外部講師の前でプレゼンを行う。</p>					
成績評価の方法					
出欠席、提出課題、プレゼンテーションで評価。 評価は外部講師（企業の方）が行う。				制作課題	40%
				プレゼン	40%
				出欠席	20%
使用テキスト・教材					
「Java 開発演習」インフォテックサーブ 教員オリジナルプリント					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	システム概要説明		4		
2.	要件定義まとめ、ユースケース図		4		
3.	入出力設計、DB設計		4		
4.	クラス概要設計		6		
5.	シーケンス図、その他ダイアグラム		6		
6.	詳細クラス図、内部外部レビュー		6		
7.	結合テスト仕様書		2		
8.	コーディング		14		
9.	単体テスト、デバッグ		2		
10.	結合テスト		2		
11.	適格性確認テスト、検収		2		
12.	振り返り、成果発表準備		4		
13.	成果発表会		4		
その他				関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。				プログラム言語Ⅰ、プログラム言語Ⅱ	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SR77
授業科目名		授業形態		学科・コース	
情報特別講義Ⅱ		講義		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	240	8	各担当
授業の目的・目標					
各種情報処理技術者試験や、Javaプログラミング能力認定試験等の資格試験の合格を目指した対策授業です。					
授業の概要					
この授業はすべてに科目の総まとめの意味を持っています。ここでしっかり学習することで、ばらばらだった科目がしっかりつながり、さらなる理解につながります。受講後、目標資格を取得することでさらなる自信が生まれ、自分が成長していることを実感できる授業となっています。					
成績評価の方法					
出欠席及び合格することなどで評価。				出欠席	90%
				その他	10%
使用テキスト・教材					
各種情報技術者認定試験 問題集					
授業内容・授業計画					
1-60. 各分野の対策授業			時間数 240	時間数	
その他				関連科目	
※絶対合格するという強い意志を持って勉強に臨んでください。				情報処理特別講義Ⅰ	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-G03
授業科目名			授業形態	学科・コース	
コミュニケーション活動Ⅲ			講義・演習	高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	30	1	横田 一輝
授業の目的・目標					
始業式、終業式、ハイキングや入学式、卒業式、卒業研究発表会、就職ガイダンスといった行事、さらには海外研修などに参加するための科目である。					
授業の概要					
始業式、終業式、卒業研究発表会、就職ガイダンスといった行事などに参加するための科目である。					
成績評価の方法					
出欠席で評価する。					出欠席 100%
使用テキスト・教材					
特になし。					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. オリエンテーション			4		
2. 前期成績発表			4		
3. 防災訓練			4		
4. 卒業研究発表会			8		
5. 進級発表			4		
6. 資格試験対策			6		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-G07
授業科目名		授業形態		学科・コース	
キャリアディベロップメントⅡ		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	30	1	植松 甫
授業の目的・目標					
2年生後期に実施されるキャリアディベロップメントⅠの振返りを集中講座という形で実施、社会人としての基本的なスキルを学ぶ。					
授業の概要					
社会人として求められる基礎的なスキルを訓練する。 企業の一員として働く体験をする。					
成績評価の方法					
出欠席や積極性などで評価。				出欠席	80%
				その他	20%
使用テキスト・教材					
講師作成テキスト					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	業界研究		2		
2.	ビジネスマナー復習		2		
3.	志望動機の作り方		2		
4.	コミュニケーションスキル向上訓練		4		
5.	エントリーシート作成		4		
6.	コミュニケーションスキル向上訓練②		4		
7.	個別面接訓練		4		
8.	集団討論演習①		4		
9.	集団討論演習②		4		
その他				関連科目	
				キャリアディベロップメントⅠ	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-G08
授業科目名		授業形態		学科・コース	
就職活動ゼミ I		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	後期	必修	30	1	植松 甫
授業の目的・目標					
就職活動をスムーズに行うための基礎知識を身に着ける。					
授業の概要					
自己表現をすることと、希望の会社・団体について学ぶことをバランスよく行う。					
成績評価の方法					
出欠席や積極性で評価。				出欠席	80%
				その他	20%
使用テキスト・教材					
特になし。					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	働くということ・社会人としての自覚	2			
2.	自己分析・自分の魅力探し	2			
3.	就職活動の流れ	2			
4.	Web サイトでの情報収集	2			
5.	業界研究・企業研究	2			
6.	求人票の見方、給与・保険制度	2			
7.	職種研究	2			
8.	筆記試験対策	2			
9.	会社説明会	2			
10.	電話、面接での問い合わせ	2			
11.	履歴書の書き方	2			
12.	面接指導	8			
その他		関連科目			

シラバス (授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
				T-SR23	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Webアプリケーション基礎		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	60	2	横田 一輝 杉谷 奨太
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・Java 言語を用い、サーバサイドプログラミングの基礎的事項を学習する。 ・基本的なサーバサイドアプリケーションの制作ができることを目標とする。 					
授業の概要					
<p>授業では、パソコン上で実際にプログラムを作成することを重視する。</p> <p>1年次に学習した Java 言語を使用したサーバー側で動作するプログラムの開発の仕方を学習する。Java 言語の基礎知識を前提に授業を進めていくので予め、復習しておくことが望ましい。ネットワークやセキュリティの知識も必要となる3年生の核となる授業である。</p>					
成績評価の方法					
課題の提出状況、発表内容、出欠席状況で評価する。					課題 80% 出欠席 20%
使用テキスト・教材					
「スッキリわかるサーバレット&JSP入門」 国本大吾 (著)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. HTML と Web ページ		2	16. メイン画面の作成		2
2. Web の仕組み		2	17. ログアウト機能の作成		2
3. 開発環境整備 サンプル実行		2	18. 投稿・閲覧機能の作成		2
4. サーブレットの基礎		2	19. エラーメッセージ表示機能作成		2
5. JSP の基本		2	20. フレームワークとは		2
6. フォーム		2	21. Spring Boot を使う		2
7. フォームを使ったプログラムの作成		2	22. Lombok とは		2
8. MVC モデルと処理の遷移		2	23. Thymeleaf でフォーム操作		2
9. フォワード、リダイレクトプログラム		2	24. セッション操作		2
10. リクエストスコープ		2	25. データベースを使う		2
11. サンプルの実行		2	26. 入力された条件で検索する		2
12. セッションスコープ		2	27. 動的なクエリを実行する		2
13. アプリケーションスコープ		2	28. ページネーション		2
14. 章アプリケーション作成		2	29. DB を使ったサンプルアプリ		2
15. ログイン機能の作成		2	30. 設計手法の理解		2
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SR24
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Webアプリケーション応用		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	後期	必修	60	2	杉谷 奨太
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・企業の実践的教材を用い、システム設計書から実際にWebアプリケーションの開発を行う。 ・今まで学習したUMLで設計された教材を使用し実際に開発ができることを目標とする。 ・チームによる開発によって、スケジュール管理やソース管理の方法を学ぶ。 					
授業の概要					
<p>「企業課題I」につながるような演習中心の授業を行う。UMLで記述された要件定義から外部、内部設計・プログラム設計部分を把握し実際に開発を進めていく。Java言語の基礎、HTML5、JavaScriptさらに前期で学習した「Webアプリケーション基礎」の知識が必要である。</p>					
成績評価の方法					
課題提出をもって、試験に代える。				課題	80%
				出欠席	20%
使用テキスト・教材					
企業様作成の教材					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 教材内容説明 オリエンテーション		2			
2. 要件定義、外部設計の内容理解		6			
3. 内部設計の内容理解		6			
4. 開発		20			
5. レビュー		4			
6. ブラッシュアップ(機能追加)		8			
7. テスト		8			
8. まとめ		2			
9. 発表		4			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2024年度
						科目コード	T-SR29
授業科目名			授業形態		学科・コース		
情報セキュリティ演習			講義・演習		高度ITビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	前期	必修	60	2	遠藤 有貴 植松 甫		
授業の目的・目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ対策に必要な理論を学び、実践的な演習を行う。 ・脆弱性体験型の学習ツールを利用し、実際の攻撃やセキュリティ対策について学ぶ。 							
授業の概要							
Webアプリケーション、サーバ・デスクトップアプリケーション、ネットワーク、サーバの脆弱性について、学習する。最終的には、システム全体のセキュリティを担保できるスキルを習得する。							
成績評価の方法							
課題の提出状況、出欠席状況等の授業内態度で評価する。						期末試験	60%
						課題	40%
使用テキスト・教材							
セキュリティ最強の指南書 (日経NETWORK)							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	復習		2	16.	Python を利用したセキュリティプログラミング		4
2.	クロスサイトスクリプティング		4	17.	クロスサイトリクエストフォージェリ		4
3.	ディレクトリトラバーサル		4	18.	期末課題		6
4.	SQLインジェクション		6				
5.	セッション管理の不備		4				
6.	サイバー防災訓練		6				
7.	インシデント対応①事前知識の確認		2				
8.	インシデント対応②検知・受付		2				
9.	インシデント対応③トリアージ		4				
10.	インシデント対応④証拠保全		1				
11.	インシデント対応⑤封じ込め・根絶①		1				
12.	インシデント対応⑥封じ込め・根絶②		4				
13.	インシデント対応⑦復旧措置・再発防止		2				
14.	インシデント対応⑧報告・公表		2				
15.	インシデント対応⑨事後対応		2				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
				T-SR33	
授業科目名			授業形態		学科・コース
ネットワーク OS 基礎			講義・演習		高度 IT ビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	60	2	植松 甫
授業の目的・目標					
・Linux のインストール、各種設定方法、Linux コマンド、Shell コマンドを中心に学ぶ。					
授業の概要					
Linux は、サーバ用途から、家電製品、情報機器の組み込み用途など多くの環境で利用されている。授業では、実際に Linux サーバを利用し、Linux の基本的な操作を学習する。					
成績評価の方法					
期末試験、課題の提出状況、出欠席状況等の授業内態度で評価する。					期末試験 80%
					課題等 20%
使用テキスト・教材					
・「Linux コマンド 200 本ノック」ひらまつしょうたろう (著) 技術評論社					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. Linux (Ubuntu) インストール			2		
2. Linux の基本			2		
3. ファイルとディレクトリ			8		
4. シェルとコマンドラインの基本			4		
5. ファイル操作のコマンド			8		
6. パーミッションとスーパーユーザ			6		
7. Vim の基本			8		
8. 標準入出力の活用			6		
9. テキスト処理の基本コマンド			6		
10. プロセスとジョブ			4		
11. Bash の設定			4		
12. シェルスクリプト入門			2		
その他				関連科目	
※単元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度		
				2024 年度		
				科目コード		
				T-SR35		
授業科目名		授業形態		学科・コース		
サーバ構築演習		講義・演習		高度 IT ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	後期	必修	60	2	遠藤 有貴	
授業の目的・目標						
<ul style="list-style-type: none"> CentOS を利用し、SSH サーバ、DNS サーバ、Web サーバ等を構築する。 構築したサーバのセキュリティ対策について、学ぶ。 						
授業の概要						
<p>授業では、サーバを実際に構築し、その環境を活用し学習を進める。定期的に課題を課すので、納期までの提出が義務付けられる。即戦力の習得には、「習うより慣れる」という気持ちが大事。とにかく環境に触れ、技術の習得するよう心掛けること。</p>						
成績評価の方法						
課題の提出状況、発表内容、出欠席状況で評価する。				期末試験	60%	
				課題	40%	
使用テキスト・教材						
「CentOS8 で作るネットワークサーバ構築ガイド」サーバ構築研究会 (著)						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 復習			2	13. 期末課題		6
2. 実習環境の構築			4			
3. パッケージのメンテナンス			4			
4. SSH サーバ			4			
5. パケットフィルタ (firewalld)			4			
6. DNS サーバ (BIND)			8			
7. WWW サーバ (Apache)			8			
8. WWW サーバ (Nginx)			6			
9. FTP サーバ (vsftp)			4			
10. DB サーバ (Mariadb, Redis)			2			
11. SMTP サーバ (Postfix, Saslauthd)			4			
12. POP サーバ (Dovecot)			4			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SR37
授業科目名		授業形態		学科・コース	
制御プログラム応用		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	後期	必修	60	2	和田 弘
授業の目的・目標					
マイコン利用による制御プログラムについて理論・実習・グループ演習を通して学ぶ。 「ラジコンカー制御」を通して、開発企画、プログラム作成、結果発表をできることを目標とする。					
授業の概要					
基礎編の総復習を行い、全員のスキルレベルあわせを行う。 ラジコンカーの制御プログラムにより「動作制御」の基本を学ぶ。 グループ演習により「企画力」「チームワーク力」を養う。					
成績評価の方法					
原則、授業態度、課題提出、演習結果提出、グループ作業、等を総合評価した上で決定する。					課題 100%
使用テキスト・教材					
ラズベリー・パイで遊ぼう (ラトルズ)、エントリーキット、ラジコンカー等 PC (各自持参要) にて下記 HP を中心に授業を進め、課題提出等にも使用する。 [授業用 Web HP] http://www13.plala.or.jp/NTCSMSI/xdnj.html 、Teams					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 授業内容・目標確認・教材確認・基礎の復習		2	16. 仕様書作成-3		2
2. 基礎の復習 (GPIO) _Ch7		2	17. 設計書作成-1		2
3. 基礎の復習 (PWM) _Ch6-6		2	18. 設計書作成-2		2
4. 基礎の復習 (1-Wire) _Ch6-8		2	19. 設計書作成-3		2
5. 基礎の復習 (I2C) _Ch6-9		2	20. プログラミング-1		2
6. 演習制御の準備		2	21. プログラミング-2		2
7. ドキュメントの書き方		2	22. プログラミング-3		2
8. 演習制御プログラム-1		2	23. テスト・修正-1		2
9. 演習制御プログラム-2		2	24. テスト・修正-2		2
10. 演習制御プログラム-3		2	25. テスト・修正-3		2
11. 演習制御プログラム-4		2	26. 報告資料作成-1		2
12. 演習制御プログラム-5		2	27. 報告資料作成-2		2
13. グループ分け・課題説明		2	28. 報告資料作成-3		2
14. 仕様書作成-1		2	29. 発表会-1		2
15. 仕様書作成-2		2	30. 発表会-2		2
その他		関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度		
				2024年度		
				科目コード		
				T-SR38		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
モバイルプログラム基礎			講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	前期	必修	60	2	横田 一輝	
授業の目的・目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・Android Studio でFlutter を使い、モバイルプログラミングの基礎的事項を学習する。 ・Dart 言語を使い、基本的なモバイルアプリケーションの制作ができる目標とする。 						
授業の概要						
マルチプラットフォーム対応の開発環境を使用。授業では、PC 上でモバイルアプリのプログラムを作成し、エミュレータを介して実行する。最後に課題を課すので、納期までに提出が義務付けられる。トライ&エラーが大切です。動作確認しながらプログラミングを覚えよう。						
成績評価の方法						
課題の提出状況、発表内容、出欠席状況で評価する。					課題 80%	
					出欠席 20%	
使用テキスト・教材						
動かして学ぶ! Flutter 開発入門 掛内 一章 翔泳社						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. フレームワークとマルチプラットフォーム			2	13. アニメーション		4
2. Flutter アプリ開発の基礎知識			2	14. ページ遷移		4
3. Flutter と Android Studio のインストール			4	15. モバイルアプリケーションの作成		6
4. Android Studio の基本操作			2	16. 課題演習		8
5. Dart の概要			2			
6. 画面レイアウトの基礎			2			
7. デバイスの設定			2			
8. デモアプリのカスタマイズ			4			
9. ウィジェットについて			4			
10. メインページのカスタマイズ			4			
11. リストを作成する			6			
12. パッケージの活用			4			
その他				関連科目		
※单元ごと演習を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授業概要)				年度					
				2024年度					
				科目コード					
				T-SR39					
授業科目名			授業形態		学科・コース				
モバイルプログラム応用			講義・演習		高度ITビジネス科				
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員				
3	後期	必修	60	2	横田 一輝				
授業の目的・目標									
<ul style="list-style-type: none"> ・「モバイルプログラム基礎」の継続授業であるが、開発ツールを限定せずに、現在主流となっているいくつかの開発環境を体験する。 ・WebAPI、クラウド、センサー、オープンデータ等を利用したアプリの制作を目標とする。 									
授業の概要									
<p>授業では、モバイル機器に実装されている機能の利用以外に、Web上で提供されるAPIやオープンデータを利用するアプリの作成を重視する。定期的に課題を課すので、納期までに提出が義務付けられる。いくつかの開発環境を体験し、動作確認しながらプログラミングを覚えよう。</p>									
成績評価の方法									
課題の提出状況、発表内容、出欠席状況で評価する。					<table border="0"> <tr> <td>課題</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>出欠席</td> <td>20%</td> </tr> </table>	課題	80%	出欠席	20%
課題	80%								
出欠席	20%								
使用テキスト・教材									
動かして学ぶ！Flutter開発入門 掛内 一章 翔泳社									
授業内容・授業計画									
			時間数						
1. Flutter開発振り返り			8						
2. 応用的なアプリケーション開発について			8						
3. JSONデータの活用			8						
4. Android Studio以外の開発環境演習			8						
5. API活用			8						
6. 課題テーマ策定&課題演習			20						
その他				関連科目					
<ul style="list-style-type: none"> ※单元ごと演習を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。 									

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2024年度
						科目コード	T-SR43
授業科目名			授業形態		学科・コース		
企業課題 I			講義・演習		高度 IT ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	後期	必修	120	4	杉谷 奨太 横田 一輝		
授業の目的・目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・企業様より課題を頂き、プロジェクト単位に依頼された課題を納品する。 ・システム開発を要件定義から納品までを一通り経験することを目標とする。 							
授業の概要							
<p>「Webアプリケーション応用」の演習を参考に課題に取り組んでください。また、今まで学習した知識を活用し、与えられた課題に対しプロジェクトを編成し、実際にシステム開発を行います。現場に赴きアンケートを実施したり、ユーザとレビューを実施したり定期的に指導教員に進捗状況の報告などを行ってください。</p>							
成績評価の方法							
課題の取組み状況、成果物の完成度、発表内容、出欠席状況で評価する。						課題	90%
						出欠席	10%
使用テキスト・教材							
各々、制作に必要なテキスト							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	オリエンテーション		2				
2.	要件定義		8				
3.	外部設計		8				
4.	レビュー		4				
5.	内部設計		8				
6.	中間発表・レビ		8				
7.	プログラム設計		12				
8.	レビュー		4				
9.	開発		36				
10.	テスト		16				
11.	レビュー		4				
12.	デプロイ 移行		2				
13.	まとめ		4				
14.	発表		4				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SR48
授業科目名		授業形態		学科・コース	
情報特別講義Ⅳ		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	120	8	各担当
授業の目的・目標					
基本情報技術者試験、ITパスポート試験、Javaプログラミング能力認定試験等の合格を目指した対策授業である。					
授業の概要					
対策授業は決して楽な勉強ではない。しかし、資格合格を目指すという強い意志を持って勉強に臨んでほしい。また、本講義はこれまでに学んだすべての科目の総まとめの意味を持っておりそれぞれの科目の知識がしっかり繋がることで、より深く理解できることを期待する。					
成績評価の方法					
出欠席及び合格することなどで評価。				出欠席	90%
				その他	10%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> 基本情報技術者認定試験問題集 (インフォテック・サーブ) 応用情報技術者認定試験問題集 (インフォテック・サーブ) 					
授業内容・授業計画					
1. 問題練習			時間数 120	時間数	
その他				関連科目	
※单元ごと演習課題を実施する。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SR49
授業科目名		授業形態		学科・コース	
情報特別講義V		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	後期	必修	120	8	各担当
授業の目的・目標					
基本情報技術者試験、ITパスポート試験、Javaプログラミング能力認定試験等の合格を目指した対策授業である。					
授業の概要					
対策授業は決して楽な勉強ではない。しかし、資格合格を目指すという強い意志を持って勉強に臨んでほしい。また、本講義はこれまでに学んだすべての科目の総まとめの意味を持っておりそれぞれの科目の知識がしっかり繋がることで、より深く理解できることを期待する。					
成績評価の方法					
出欠席及び合格することなどで評価。				出欠席	90%
				その他	10%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> 基本情報技術者認定試験問題集 (インフォテック・サーブ) 応用情報技術者認定試験問題集 (インフォテック・サーブ) 					
授業内容・授業計画					
1. 問題練習			時間数 120	時間数	
その他				関連科目	
※单元ごと演習課題を実施する。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-G04
授業科目名			授業形態	学科・コース	
コミュニケーション活動Ⅳ			講義・演習	高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
4	通年	必修	30	1	横田 一輝 遠藤 有貴
授業の目的・目標					
始業式、終業式、ハイキングや入学式、卒業式、卒業研究発表会、就職ガイダンスといった行事、さらには海外研修などに参加するための科目である。					
授業の概要					
始業式、終業式、ハイキングや入学式、卒業式、卒業研究発表会、就職ガイダンスといった行事、さらには海外研修などに参加するための科目である。					
成績評価の方法					
出欠席で評価する。				出欠席	100%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
			時間数	時間数	
1. オリエンテーション			4		
2. 前期成績発表			4		
3. 防災訓練			4		
4. 卒業研究発表会			8		
5. 進級発表			4		
6. 資格試験対策			6		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-G09
授業科目名		授業形態		学科・コース	
就職活動ゼミⅡ		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
4	前期	必修	30	1	横田 一輝 植松 甫 岡部 泰幸
授業の目的・目標					
就職活動をスムーズに行うための準備を行う。					
授業の概要					
自己表現をすることと、希望の会社・団体について学ぶことをバランスよく行う。 また、筆記試験対策も随時行っていく。					
成績評価の方法					
出欠席で評価する。					出欠席 100%
使用テキスト・教材					
特になし。					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 筆記対策			10		
2. 面接対策			10		
3. 履歴書添削			10		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SR25
授業科目名		授業形態		学科・コース	
クラウドコンピューティング		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
4	通年	必修	60	2	遠藤 有貴
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・仮想化技術や、クラウドサービスについてなどクラウドコンピューティングの基礎を学び、AWS Cloud Practitioner を取得できる程度の知識を得る。(任意受験) ・AWS クラウドの定義、課金の考え方を学ぶ。 ・AWS を活用した設計、構築ができるようになる。 					
授業の概要					
仮想化技術やクラウドサービスの基礎的な知識を学んだうえで、世界3大クラウドと言われるAWSについて基本的な知識を習得します。そして実際にクラウド環境で業務を遂行するITエンジニアが必要とされる設計、構築技術を学びます。積極的に授業に参加しましょう。					
成績評価の方法					
日頃の課題提出で成績を付けます。					課題 100%
使用テキスト・教材					
AWSAcademy 教材					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	クラウドのコンセプトの概要	4	11. 期末課題		4
2.	クラウドエコノミクスと請求	4			
3.	AWS グローバルインフラストラクチャの概要	4			
4.	AWS クラウドのセキュリティ	6			
5.	ネットワークとコンテンツ配信	8			
6.	コンピューティング	10			
7.	ストレージ	3			
8.	データベース	6			
9.	クラウドアーキテクチャ	5			
10.	AutoScaling とモニタリング	6			
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
				T-SR26	
授業科目名			授業形態		学科・コース
クラウドシステム構築演習			講義・演習		高度ITビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
4	後期	必修	90	3	立花 俊輔 横田 一輝
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> AI (特に深層学習) について、なぜうまくいくのか中身を理解する AIプログラミングのために必要なPython基礎・応用までを学ぶ 					
授業の概要					
授業ではまずは「AIとは？」からスタートします。Pythonの基礎を学び、AIプログラミングを作成してみます。併せて理論も学びます。					
成績評価の方法					
課題の提出状況および内容、出欠席状況で評価。					課題 80% 出欠席 20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ビジネスPython入門 AI活用についての教材は企業様にて作成の教材を利用。 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. Python基礎	4	16. イントロダクション			2
2. データ型と変数	4	17. パーセプトロン			4
3. 入力を受け付けて計算する	2	18. NumPy基礎			4
4. if制御文	4	19. ニューラルネットワーク			6
5. while制御文	2	20. ニューラルネットワークの学習			6
6. オブジェクトと繰り返し	4	21. 畳み込みニューラルネットワーク			6
7. モジュールと関数	4	22. 演習課題			4
8. 組み込み関数	4				
9. 演習	2				
10. Webスクレイピングプログラム	4				
11. matplotlib演習	2				
12. NumPy演習	2				
13. 手書き文字認識プログラム	6				
14. 顔認識プログラム	6				
15. AI対戦リバーシプログラム	8				
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SR34
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ネットワーク OS 応用		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
4	通年	必修	90	3	遠藤 有貴
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> Linux の構築演習やネットワーク構築演習を行う。 LinuC レベル1 102 試験を受験できる知識を身に付ける。 					
授業の概要					
Linux は、サーバ用途から、家電製品、情報機器の組み込み用途など多くの環境で利用されています。授業では、実際にサーバを利用し、Linux の運用や保守について操作しながら勉強します。					
成績評価の方法					
期末課題、LinuC 模擬試験の結果で評価します。				期末課題	60%
				模擬試験	40%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> 「最短突破 LinuC レベル1 バージョン10.0 合格教本」河原木忠司 (著) CentOS8 で作るネットワークサーバ構築ガイド 30 40 =70 78 					
授業内容・授業計画					
		時間数		時間数	
1. Linux 操作の復習		2	15. LinuC101 9章練習問題	2	
2. シェル環境のカスタマイズ		2	16. セキュリティ管理業務	2	
3. シェルスクリプト		8	17. ホストのセキュリティ設定	2	
4. LinuC101 6章練習問題		2	18. 暗号化のデータ保護	2	
5. インターネットプロトコルの基礎		2	19. クラウドセキュリティ	2	
6. 基本的なネットワーク構成		2	20. LinuC101 10章練習問題	2	
7. 基本的なネットワークの問題解決		4	21. オープンソースの文化	2	
8. ネットワーク管理演習		6	22. LinuC101 11章練習問題	2	
9. LinuC101 7章練習問題		2	23. 模擬試験	4	
10. アカウント管理		2	24. バージョン管理	12	
11. ジョブ管理		2	25. 期末課題① (DHCP サーバ)	8	
12. LinuC101 8章練習問題		2	26. 期末課題② (シェルスクリプト)	10	
13. システム時刻の保守		2			
14. システムのログ		2			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度				
				科目コード	T-SR40				
授業科目名			授業形態	学科・コース					
組込みシステム開発演習			講義・演習	高度 IT ビジネス科					
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員				
4	前期	必修	90	3	稲葉 保志				
授業の目的・目標									
<ul style="list-style-type: none"> ・マイコンボード、スマホ、ロボットなどの実機を用い組込みシステムを要件定義からプログラム開発、テストまでの一連の開発方法を学習する。 ・レゴロボットを教材とし、ET ロボコン参加に向けた開発を行う。 									
授業の概要									
<p>地元ソフトウェア企業の社員よりレゴロボットを教材とした組込みシステム開発を行う。システム開発の手順に則り、UML 記法にて設計、実装を行う。開発プログラム言語は Java 言語を採用。授業の最後に競技大会を実施し、システム設計、走行時間を加味して優秀チームには、ET ロボコン東海大会に出場する機会を与える。</p>									
成績評価の方法									
課題の取組み状況、システムの完成度、走行時間などで評価。					<table border="1"> <tr> <td>課題</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>20%</td> </tr> </table>	課題	80%	その他	20%
課題	80%								
その他	20%								
使用テキスト・教材									
プリント配布。									
授業内容・授業計画									
		時間数			時間数				
1.	EV3 の仕様について	2	12.	プログラム設計	8				
2.	ET ロボコン競技規約	2	13.	レビュー	2				
3.	基本技術トレーニング	6	14.	プログラミング	18				
4.	要求分析設計	6	15.	単体テスト	6				
5.	レビュー	2	16.	結合テスト	4				
6.	システム分析設計	4	17.	システムテスト	2				
7.	レビュー	2	18.	走行テスト	4				
8.	外部設計	6	19.	競技会	6				
9.	レビュー	2							
10.	内部設計	6							
11.	レビュー	2							
その他			関連科目						

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SR44
授業科目名			授業形態		学科・コース
企業課題II			講義・演習		高度ITビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
4	通年	必須	120	2	村松 芳博 横田 一輝 小針 恒雄
授業の目的・目標					
現代のビジネスパーソンに求められる能力に「会計の知識：財務諸表が読める」がよくあげられる。本講座では、財務3表の見方、事業計画書の作成の仕方を講義・演習を通して習得することを目的としている。					
授業の概要					
財務3表については、演習（読み方・簿記演習等）を通して理解していく。事業計画書についてはビジネスプランコンテスト（全国専門学校情報教育協会主催）を目標に、各自のビジネスプランを通して作成の仕方を理解していく。					
成績評価の方法					
演習課題の評価点（提出物については、別途指示する）と授業中の学習意欲、課題制作の成績、出欠席状況で評価する。					課題 80% 出欠席 20%
使用テキスト・教材					
配布資料・「事業計画書」（日本能率協会マネジメントセンター） 情報処理教科書 出るところだけ！ 情報セキュリティマネジメント テキスト&問題集					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 財務諸表の種類・貸借対照表・簿記の基本			30		
2. ビジネスプランコンテスト準備			30		
3. 情報セキュリティマネジメント試験対策			60		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SR50
授業科目名		授業形態		学科・コース	
情報特別講義VI		講義		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
4	前期	必修	120	8	横田 一輝
授業の目的・目標					
基本情報技術者試験、ITパスポート試験、Javaプログラミング能力認定試験等の合格を目指した対策授業である。					
授業の概要					
対策授業は決して楽な勉強ではない。しかし、資格合格を目指すという強い意志を持って勉強に臨んでほしい。また、本講義はこれまでに学んだすべての科目の総まとめの意味を持っておりそれぞれの科目の知識がしっかり繋がることで、より深く理解できることを期待する。					
成績評価の方法					
出欠席及び合格することなどで評価。				出欠席	90%
				その他	10%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> 基本情報技術者認定試験問題集 (インフォテック・サーブ) 応用情報技術者認定試験問題集 (インフォテック・サーブ) 					
授業内容・授業計画					
1. 問題練習			時間数 120	時間数	
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算			年度	2024年度
					科目コード	T-SR51
授業科目名		授業形態		学科・コース		
海外研修		演習		高度 IT ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
4	後期	必修	60	2	植松 甫	
授業の目的・目標						
国内だけではなく、海外の技術や文化に触れ、国際人・IT技術者としてのレベルを高める。様々な体験からこれまで学習した英語力や最先端技術が通用するのか、確認する目的も含む。						
授業の概要						
言語の違いはもちろんであるが、国際人としての振る舞い、日本人代表としての姿勢を保つことも求められる。特に、文化の違いを受け入れ、人種を超えた多様な人間の存在に理解を示すことが重要である。海外独特の仕来りに順応し、言語の困難があっても対応できる対応力を身に付けて欲しい。						
成績評価の方法						
出欠席で評価。					出欠席	100%
使用テキスト・教材						
なし						
授業内容・授業計画						
1. 海外訪問			時間数 60			時間数
その他				関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SR52
授業科目名		授業形態		学科・コース	
卒業研究		演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
4	後期	必修	150	5	植松 甫 横田 一輝 遠藤 有貴 和田 弘 岡部 泰幸
授業の目的・目標					
今まで学習した内容を活かして、各自でテーマを決め研究・開発を行う。					
授業の概要					
研究・開発した内容を卒業論文として期限までに提出を義務付ける。					
成績評価の方法					
論文、発表の内容で評価。				研究内容	100%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
1. 各研究作業			時間数 150		時間数
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SS01
授業科目名		授業形態		学科・コース	
インターンシップ		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
4	通年	必修	90	3	植松 甫 遠藤 有貴
授業の目的・目標					
「各種コンテスト課題制作」との必須選択科目である。 内定先企業等の要望によりインターンシップが必要な学生はこちらの科目を選択する。					
授業の概要					
企業等へ出向き企業担当者の指示に従い作業をおこなう。事前に企業と学校とのインターンシップの連携契約を結ぶこと。原則、1回/週は登校し報告書の提出が義務付けられる。 インターンシップが45コマに満たない場合は、「各種コンテスト課題制作」にて充当する。					
成績評価の方法					
インターンシップの終了、報告書の提出が義務付けられる。					報告書 100%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
1. インターンシップ			時間数 90	時間数	
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	T-SS02
授業科目名		授業形態		学科・コース	
各種コンテスト課題制作		演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
4	前期	必修	90	3	植松 甫 横田 一輝 遠藤 有貴 和田 弘 岡部 泰幸
授業の目的・目標					
プレ卒研の位置づけで作品の制作を行います。個人、もしくはグループで卒業研究のベースとなるアイデアを出し、テーマを絞り開発を進めます。					
授業の概要					
3年間学習した知識を基に一から作品作りをします。プレ卒研の気持ちで取り掛かるようにしてほしいと考えています。各分野の専門の講師が代わるがわりに指導に入るので、分からないところがあれば適宜質問をしてください。延長上として卒業研究を見据えてください。					
成績評価の方法					
成果物で評価。					成果物 100%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
1. 各種作業			時間数 90		時間数
その他				関連科目	